

区が保育料の値上げを提案



全子育て世帯が対象。30%アップ？

練馬区長は9月6日からの第3回定例区議会の所信表明で、認可保育所と区立幼稚園の保育料の値上げを提案しました。

練馬区は、保育料見直し案にたいする区民からの意見公募（パブリックコメント）を実施します。

9月30日までに、①意見、②住所、③氏名を書いて、郵便、FAX、電子メールで練馬区に送ってください。

他の保育施設に比べて低いから値上げする？

区は説明の中で、練馬区の保育所の運営経費に占める保育料徴収の割合は、23区で最も低い割合で、認証保育所や練馬こども園とくらべても、認可保育所の保育料は低廉だとしています。

しかし認可保育所は、児童福祉法第24条1項に位置づけられ、保育の必要のある子どもを保育所に預かる義務が自治体にある施設です。運営経費をもちだして、経済的負担を保護者に強いてよいなど、児童福祉法には書かれていません。まして、国の法律とは区別される認証保育所や幼稚園の預かり保育（練馬こども園）と比べて、保育料が安いから問題だというのは、値上げありきの理屈です。

OECD平均より低い日本の公財政支出

OECD（経済協力開発機構）の調査では、就学前教育機関（幼稚園や保育所）に対する公財政収支支出の対GDP比は、OECD平均が0.48%に対し、日本は0.1%と極端に低くなっています。国と自治体の責任（公的責任）で運営してこそ、世界の水準に近づくのです。

《2016年度の父母連について》

今年度の父母連総会は6月に開催、保育園の環境整備など父母の願いを実現する活動方針を決め、次の新体制を確立しました。

- ・会長：岩城明（栄町保育園元父母会長）
- ・事務局長：金森総子（関町保育園保護者）
- ・役員：満川知代（早宮保育園父母会役員、練馬保育園保護者）
小松あゆみ（早宮保育園 前民間委託対策委員長）
福島利恵（石神井さくら保育園前会長）
飯田直子（貫井第二保育園保護者）
太田つむぎ（桜台第二保育園元父母会長）
柳沢健二（関町第三保育園元会長、練連協会会長）

負担能力に応じた案？ 値上げの二重の仕掛け

保育料決定が所得税基準から住民税基準に

区は、負担能力に応じた案だとして、高所得世帯の保育料階層を増やし、応能負担を推進するとしています。

これまで「保育料」の階層は21区分で、3歳未満の最高は5万7500円でした。見直し案では28の区分に増やして、最高額8万6200円になります。しかも保育料決定はこれまで税金から控除されていた額が控除されないため、同じ収入であっても保育料区分の階層が自動的にあがる仕掛けになっています。

年収250万円世帯でも35%の値上げ

《試算例》年収500万円の子ども2人の家庭の場合、所得税は12万3000円、住民税は2万27000円。保育料基準表で当てはめると、2歳児の保育料は現行2万3600円が3万2000円になります。28%のアップです。

年収250万円の家庭、900万円の家庭をシュミレーションすると、保育料は35%、42%の値上げになります。区の保育料値上げ案は、大幅値上げが隠れている「二重の仕掛け」になっています。

保育料を上げないで！の声を広げましょう！

保護者の声をパブリックコメントで上げていきましょう。父母連では、保育料値上げの中止を求める陳情署名にとりくんでいます（裏面参照）。また、学習会の講師も引き受けます。

入園説明会に120名のパパママが参加

保育問題協議会と共催で「入園説明会」の第1回目が9月4日に開催。区は待機児166名としていますが、潜在的待機児は「東京新聞」報道で923名と、大変な状況にあります。

第2回説明会は11月13日（日）に開催します。



《父母連が2つの陳情書を区議会に提出》

保育料値上げ中止を求める陳情、全園に看護師と栄養士の配置を求め

練馬父母連は、9月6日から始まった第3回定例区議会に先立ち、区議会に2つの陳情書を提出しました。
※署名用紙が必要な父母会は練馬父母連までメールで請求してください。

【1】公立認可保育園の増設と保育料の値上げ中止等を求める陳情書

- 1、保育園に入れない待機児解消にむけて、公立の認可保育園を増設すること。
- 2、子育て世帯の生活を圧迫する保育料の値上げはしないこと。
- 3、子育て世帯に対する経済的支援を拡充すること。

<理由>

- 1、厚生労働省は3月28日に、育児休業などを理由に、待機児童から外した“隠れ待機児”が、昨年4月時点で6万208人いることを明らかにし、実態を反映した「待機児」数の公表にふみきりました。保護者は“子どもを預かってもらえる施設”ならどこでもよいと保育所を希望しているのではなく、子どもの成長を保障した質のよい認可保育所を希望しています。希望者全員が入れるように、公立の認可保育園を増設してください。
- 2、児童のいる子育て世帯の所得は、平成8年以降減少を続けています。子育て世帯の経済的負担は限界にあります。保育料の値上げは子育て世帯の生活を圧迫します。次世代を育成するのは社会の責任です。必要な経費を子育て世帯に負わせていては少子化傾向は止まりません。保育料の値上げでなく子育て世帯の経済的負担の軽減策こそ必要です。



【2】すべての認可保育園に看護師、栄養士の配置を求める陳情書

すべての認可保育園に看護師と栄養士を配置するよう、区に対して働きかけられたい。

<理由>

練馬区の保育園は「0歳児の在籍」を基準としているため、全園に看護師と栄養士が配置されていません。そのため、120人規模の認可保育園でも、子ども達の健康管理と栄養管理を行うにあたって、近隣の保育園から看護師・栄養士の応援をうけている状況です。保育園は、保育園児のみならず近隣の保育施設のこどもの成長にとっても大事な役割を果たしています。また、練馬区では障がい児にたいする施策が進み、看護師の全園配置は必要な人員配置であり、求められる保育環境になっています。子育て世帯への支援を掲げる練馬区にふさわしく、すべての認可保育園に看護師および栄養士を配置してください。

☆2つの署名は保育問題協議会を通じて保育園職員の組合(保育園分会)に協力をお願いします。

「ねりまふぼれん」とは・・・

練馬区保育園父母連合会(父母連)は、子ども達が安心して過ごせる保育環境をめざし、みんなで学び・考え・助け合い、各保育園の父母会活動の交流をはじめ、区との懇談会の開催や、勉強会にとりくみます。

また、施設の改修・改善に関する要望を区に提出したり、民間委託に関する情報交換をすすめています。これらは定例の「連絡会議」を中心に情報交換を行い、父母会活動の援助を行っています。

父母会単位での参加はもちろん、個人参加も歓迎です。ぜひ父母連の連絡会議や学習会、イベントをのぞいてみませんか。

～ねりまふぼれん(父母連)メーリングリスト～ 参加者募集中!

父母連からの最新の情報はMLでお伝えしています。各園からのお知らせ、他園との情報交換にも自由に活用して頂けます。

申込はメールで、件名に「ML加入希望」、本文に「園名、父母会の役職(なければその旨)、氏名」を記入してください。

父母連アドレス: neri_fubo@yahoo.co.jp

【会長からひと言】

3人の子どもが栄町保育園にお世話になりました岩城明です。子どもを取り巻く環境は、ますます厳しくなってきましたが、保育園に通うお子さんと保護者のために、父母連会長としてがんばります。些細なことでもかまいませんので、父母連にご意見や要望、質問をお寄せください。よろしく願いいたします。

◆加盟費の入金をお願いします◆

今年度、入金が済んでいない父母会および個人会員の方は、下記口座まで振り込み願います。

父母連は、加盟父母会・個人加盟の会費によって運営しています。1園でも多くの父母会が加入されることが、練馬の子ども達と保育園を守る力にもなります。ぜひご協力ください。また、ご質問等ございましたらお気軽にメールください。

<振込先> ゆうちょ銀行

店名: 〇〇八(ゼロゼロハチ)

口座: 普通8381676

練馬区保育園父母連合会

※お振込みの際は、園名を入力するようにしてください。また確認のためメールにてその旨を必ずご連絡願います。(例: 〇△ホイクエン)